

野木町総合サポートセンター 「談話室」「子育て支援室」

野木町総合サポートセンターは、健康や福祉、子育てに関する総合相談窓口であり、皆様の生活の中の困りごとを解決に向けて一緒に考えていくための施設です。

平成31年4月の本格オープンに向けて、毎月サポートセンターについて紹介していきます。今月は、「談話室」と「子育て支援室」をご紹介します。

☆談話室☆

談話室は、誰もが利用できるフリースペースです。本を読みながらゆっくりとした時間を、ご友人と懇親を深める場などとしてご利用ください。



☆子育て支援室☆

子育て中の親子が自由に利用できる交流の場として活用します。さらに、子育てに不安や悩みを抱えている方に対しての相談を受け、身近な子育てに関する情報なども提供します。

お礼

広報10月号でご協力をお願いいたしました、絵本等の募集につきまして、14名の方から、幼児向けの絵本や童話集、動植物の図鑑や小説などの本を合計777冊ご寄贈いただきました。談話室の図書コーナーにて活用させていただきます。ご協力大変ありがとうございました。

問 総合サポートセンターひまわり館 ☎ (33) 6878

広報連絡委員レポート №.393

遺構

広報連絡委員

鴨志田 和彦



約400m前からその煙突が確認できた。門を抜けてメタセコイア並木の間から巨大な番傘が鎮座している様に見える。限りなく円形に近い正16角形、建築的オブジェから見ても美しい。国内に4基ある遺構の中でも殊更特徴的な形であり唯一無二の存在、野木町煉瓦窯。

昨年、9月16日に行われた自治会の行事の一つで、自治会の皆さんと野木町煉瓦窯を見に行こうという企画があったので参加してみました。ガイドさん同行の元、子供から年配の方達と一緒に見て回る事になった。

窯の内部では一連の焼成の様子をガイドさんが説明してくれた。成る程、16角形にしてあるのは連続して焼くための形なのだ、実に生産性が高いと感心した。窯は当時の姿形そのままだ。幾度と無く手直しをしたのであろう、年代の違う煉瓦が張り替えてあった中に明らかに近年の物ではない黒ずん

だ煉瓦が見て取れる。創業当時の煉瓦なのであろうか、当時の作業風景をこの煉瓦達だけが知っているのかも知れない。

ガイドさんの熱心で丁寧な説明のお陰で作業工程を思い描いてみる事が出来た。この際、煉瓦を作る工程を再現してみてもは？などと興味を持った。また、普段会えない地域の方々と談笑をしながら見て回るのも非常に楽しかった。開催して下さった役員の皆様には感謝したい。

これからも自然環境の厳しい日々が続くであろう、未長く遺ることを切に願う。

